

# 光鯨会だより(第17号)

平成26年12月号

発行：光鯨会 会長：岡本賢 (S39) 幹事長+連絡担当者：井戸田秀樹 (S58)  
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 建築・デザイン工学科  
<http://koukokai.jp/home/> [koukokai@archi.ace.nitech.ac.jp](mailto:koukokai@archi.ace.nitech.ac.jp) TEL052-735-5517

## I 卒業生は今

### ■近況報告

市古 卓也 (H4) (株)竹中工務店

大学を卒業してから早いもので22年が経ちました。竹中工務店に入社してからは現場監督として、多くの建物の施工に関わってきました。名駅のミッドランドスクエアといった名古屋地区を代表する超高層建物などにも携わることができ、大きなやりがいと責任感を感じながら日々業務を行っています。

現在は、名古屋駅の目の前にある名駅一丁目計画というビッグプロジェクトに携わっています。ご存じの方も多いと思いますが、今、名古屋駅周辺は3つの大きな再開発プロジェクトが同時進行中です。この三大プロジェクトは合計延べ面積で約600,000㎡にも上り、それぞれのプロジェクトは一つ一つ単体で見ても「JR線に近接している」、「周辺道路の交通量が非常に多い」、「超高層建物」、「大深度掘削」といった非常に難易度の高い工事です。そのような難易度の高い建物を三つ同時進行で各社が工事を行っているわけですから、第三者災害の防止、安全管理や周辺環境への配慮に気が抜けない日々が続いています。このように苦勞

も多いですが、それ以上に大きなやりがいがあるのが現場監督の醍醐味です。現在は鉄骨工事、外装工事、内装工事を進めており、2015年11月の竣工を目指して最後まで精一杯やり抜きたいと思っています。皆さんも新しく生まれ変わる名駅地区の姿を楽しみにしていただきたいと思います。



名駅一丁目計画プロジェクト

杉浦(旧姓：望月) 大輔 (H5) 大成建設(株)

1995年に大学院を修了後、大成建設設計部に入社し、東京本社、新潟支店、名古屋支店と様々な場所や用途のプロジェクトの設計に携わって来ました。現在は私が学生時代に研究室でも話題になり、当時建設途中であったJRセントラルタワーズの増築である、JRゲートタワーの設計に関らせて頂いています。

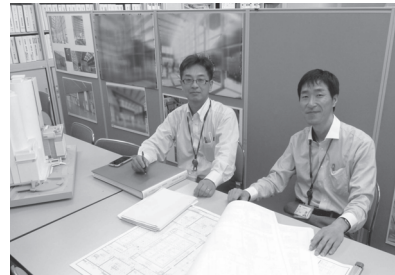
超高層しかも地上、地下に電車が通る駅ビルという立地上の困難さだけでなく、46万㎡という巨大な既存複合ビルの増築を、安全は当然の事ながら、どうしたら訪れる人々にとって居心地の良い空間と出来るのか、しかも経済性も成立させるといった事を念頭に置きながら日々設計を行っています。

実務としては、ビル本体の設計を共同設計者の日建設計、JR東海コンサルと進めるだけでなく、デザイン・アーキテクトとして参画しているKPFや、照明・外構・商業内装空間・サインといった多種多様な役割を持ったデザイナーとの調整も行っていきます。非常に多くの人が一つの目標に向か

名古屋駅新ビル(仮称)実施設計共同企業体

って会話する機会に参加させて頂いているのですが、そこには自分自身が知らなかった新しい情報が溢れており、常に新しい発見が得られます。

建物もいよいよ地上へと姿を現し始め、2017年春の開業に向け急ピッチに工事も進んでいます。それに合わせ、設計に携わる自分もひたすら突き進んでいるのですが、一つのビルの出現が周囲に与える影響の大きさという事の意味を忘れず(しかも同時期に3棟もの建物が出現するという)、学生時代に思い描いていた都市空間を創出するというめったに関わる事の出来ない仕事の醍醐味を感じながら、自分の子供達にも自慢できるような“地図に残る仕事。”をやり遂げるべく、毎日に臨んでいます。



設計室にて研究室後輩の犬飼氏と(本人 左側)

### 脇田 直弥 (H15) 新日鉄住金エンジニアリング(株)

びっくりしたことに、卒業してから早くも11年経過してしまいました。自分がイメージしていた人生とはほど遠く、日々怠惰な生活を送っていますが、卒業後の11年を振り返りたいと思います。

- 1年目：新日鉄に入社後、構造設計に携わる。いきなり一人で渋谷のテナントビルを担当し、日々怒られ泣きながら設計したことは良い思い出。
- 2年目：シネコンを有するテナントビルを担当。計算ミスを恐れ、眠れない日々を過ごす。
- 3年目：当社プラントを有するごみ処理場を担当。機械荷重の情報量の多さ、複雑さに目を回す。
- 4年目：大型物流施設を担当。完成した建物はまるで大きな豆腐のようでした。
- 5年目：新日鉄エンジニアリングに分社転籍。仕事に変化はなく構造設計を担当。慣れとは恐ろしく、構造設計に対する恐怖心がやや薄らぐ。
- 6年目：東京在勤ながら、西日本、九州担当となる。移動時間が設計時間を上回る。
- 7年目：同時に10件以上のプロジェクトに関わる。業務の8割が電話と打合せになる。

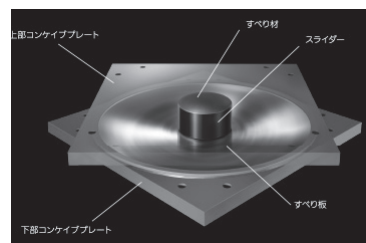
8年目：新たな試みとして、エネルギー法で確認申請を提出する。構造設計に対するモチベーションが復活する。

9年目：部下も増え、早くも手が動かなくなる。

10年目：免震建物で初めて大臣認定を経験する。液状化地盤の評価に四苦八苦。なんとなく構造設計の世界全体が把握できた気になる。

11年目：初めての異動。構造設計の世界から離れ、商品開発に携わる。なかなか実験が成功せず、開発業務の難しさにうち震える。

まだまだ先は長いですが、自分の開発した商品の営業で、OBの皆さんを訪問することが目下の目標です。その際はよろしくお願ひします。



当社新商品 NS-SSB 球面すべり支承

### 志賀 信介 (H24) (株)上坂設計

2012年に卒業後、大阪の上坂設計という設計事務所に勤務しています。社長も名古屋工業大学の卒業生ということもあり、大先輩の下で毎日厳しく、時にはやさしく、鍛えられています。

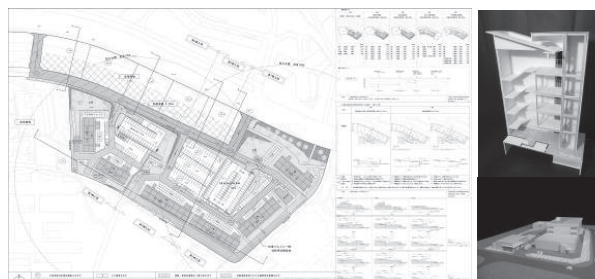
まだまだ慣れないことばかりですが、基本設計、実施設計、積算業務、確認申請、現場での設計監理など、様々な業務を通して、日々勉強しているところです。

現在は、千里の団地建替や、庁舎建替の基本計画の業務に携わっています。昨今省エネや環境負荷低減、長寿命化など、建築に対して様々な要求がある中で、基本計画という事業のスタートの部分に関わらせていただいているので、出発点でつまづかないように責任を感じながら業務をしています。

学生の頃には特に感じるものがなかったのですが、発注者や施設利用者の方たちの要望や意見をとりいれながら、構造担当者・設備

担当者と調整するなど、基本計画という設計の1段階の中でもたくさんの方が関わって初めて一つの計画が作りあげられるのを肌で感じ、人間同士のつながりがとても大切だと実感しています。

会社は少人数ですが、足を引っ張らないように責任を感じながら仕事をしています。まだまだ分からないことだらけですが、毎日の業務を大切にして経験を積んで精進していきたいと思っています。



今関わっているプロジェクトの基本計画

## II 光鯨会は今

### ■見学会の報告

上田 寛二 (H20) 愛知県

光鯨会本部の秋の見学会として名古屋工業会名古屋支部の見学研修会に参加しました。当日は朝名古屋栄をバスで出発し、①焼津さかなセンターにて買物、②ホテルアンピア松風閣にて昼食と温泉、③大井川SL列車乗車(家山駅から新金谷駅まで)、そして名古屋栄に帰るという1日のスケジュールでした。

まず、焼津さかなセンターは、日本一深い海である駿河湾に面し、水揚げ高は毎年全国トップクラスを誇る焼津市内の人気観光スポットであり、多くの観光客が訪れていました。約70店舗が軒を並べ新鮮な魚介類をはじめ様々な物を販売しており、買物を楽しむことができました。

次にホテルアンピア松風閣では昼食会場からも駿河湾の絶景を見渡すことができ、当日は天候にも恵まれ遠方に富士山を眺めることができました。昼食後の温泉についてはスケジュールの都合上十分な時間が確保できなかったため、のんびりとすることはできず少し残念でした。

次に大井川SL列車に乗車しました。大井川鐵道は金谷駅から千頭駅間の大井川本線と千頭駅か

ら井川駅間の南アルプスあぶとラインの2路線があり、今回乗車した大井川本線は昔懐かしいSLや昭和に活躍した各地の電車が走っており、昔情緒あふれる路線となっています。乗車した家山駅は木造平屋建ての歴史を感じる駅舎とホームであり、映画やテレビドラマのロケ地としてもよく使われる所だそうです。まだ紅葉には少し早かったのですが、乗車中は川や茶畑など景観もよく、車窓からの風もとても心地よかったです。また、春には桜を楽しむこともでき、周辺にはダムや吊り橋といった散策コースもあるそうなので、また是非訪れたいと思いました。

のんびりとした一日でありながらも職場以外の先輩方とお話することのできる貴重な機会であり、とても充実した一日となりました。



### ■光鯨会ホームページのリニューアル

井戸田 秀樹 (S58) 名古屋工業大学教授/光鯨会幹事長

光鯨会ホームページが生まれ変わりました。今回のコンセプトは、

1. 情報の迅速なアップデート
2. 簡潔さと見やすさの大幅な向上
3. 掲載内容の仕分けと整理

です。卒業生どうし、あるいは母校や現役学生との情報交換に迅速さは不可欠です。現在、HPの内容は事務局で管理していますが、書き替え作業を極めて簡便にすることにより、新鮮な情報をどんどん見やすい形でご覧いただけるようになりました。母校や光鯨会の最新情報もタイムリーに発信していく予定ですが、同窓会の開催報告や会員の近況など、事務局宛に情報をお寄せいただければ積極的に掲載させていただきます。会員の皆様からの情報提供をお待ちしております(情報提供はkoukokai@archi.ace.nitech.ac.jpまで)。

なお、昨年末に関西支部の中尾勝悦さん(S59)に光鯨会のFacebookを開設いただきました。こちらは参加すればどなたでも情報発信していただけます。ご参加いただくには、Facebookで「光鯨会」

と検索していただき、トップページから「参加リクエスト」ボタンを押してください。既参加者のどなたかの承認が得られればすぐにご参加いただけます。現在48名が参加しています。Facebookでは会員の身近な話題や同窓会の写真、工大祭の様子など、ホームページよりもっと身近な話題がたくさんご覧いただけます。ぜひお楽しみ下さい。



すっきりとリニューアルした光鯨会 HP  
<http://koukokai.jp/home/>

■関東支部だより 支部長ご挨拶と総会・見学会の報告

支部長 吉井 正行 (S58) 清水建設 (株)

光鯨会関東支部では、11月21日に支部総会を開催しました。今回は70名の方が出席し、そのうち20名ほどが平成になってからの卒業生です。

名工大からは、宮野先生、若山先生、小野先生、井戸田先生に出席いただきました。

総会の後、野呂先輩より8月に実施したネットワークキャンパス in Tokyoのプログラムについて報告していただきました。参加した学生の皆さんにとって充実した3日間だったことと思います。

岡本会長の挨拶のあと、宮野相談役の発声による乾杯で、懇親会がはじまりました。

井戸田先生による大学の近況報告があり、再来年度から、学部と修士課程を統合した6年一貫教育課程が新設されるとの報告がありました。若山先生よりプロジェクト「名古屋駅東口広場計画について」の講演があり、スライドを用いて熱く語っていただきました。平成24年卒業の若手6人から近況報告をしてもらいました。最近、ほとんどの学生が大学院に進学しているため、東京では、平成24年卒が最若手になってしまいます。

■関西支部だより 支部長ご挨拶と総会・見学会の報告

支部長 蔦田 守弘 (S52) (株) 鴻池組

関西支部では、11月22日に平成26年度支部総会を神戸の六甲山上で開催しました。今年は8名の現役学生の参加があり、総勢40名での開催となりました。

まず、若手建築家の三分一博志氏の設計による六甲山上の展望台「六甲枝垂れ」の見学を行いました。この展望台はデザインもさることながら、自然体感展望台として設計されており、自然循環の仕組みを肌で感じる事が出来ました。また、天候も良く青空の下で、六甲山上から神戸の街並みを眺め、色づく紅葉を觀賞し、深まり行く秋の気配もしっかりと体感しました。

見学の後は、「近代化産業遺産」に指定されている伝統と格式のある六甲山ホテルで、講演会と総会を行いました。来年は阪神大震災20年の節目を迎えますので、講演会では当時震災復興にご尽力された関西支部の吉永深氏 (S38) と齋藤彰良氏 (S46) のお話を伺いました。震災から20年という長い年月が流れましたが、震災直後の復興のご苦労を身にしみて感じた講演でした。

総会に引き続いて開催された懇親会では、世代を超えた交流で大いに盛り上がり、皆さんと懇親

時間が前後しますが、11月9日に、名古屋工業会東京支部総会が開催され、参加してきました。単科会である光鯨会にも動員要請があったもので、光鯨会から合計14名参加しました。

また、来年は、全国大会が、関東での開催になります。例年は、11月の金曜日の夕方に懇親会をするだけでしたが、来年は、土曜日、午後集まり散策等のあと、夕方懇親会にできないかと、全国大会実行委員会を立ち上げ、検討しているところです。皆様の来年の全国大会への参加をお願いいたします。



関東支部総会・懇親会

〒105-8370 東京都中央区京橋2-16-1

清水建設 (株) (03-3561-3680)

支部長 吉井 正行 (S58) 副支部長 永田 敬雄 (S45)

副支部長 鹿島 孝 (S59) 連絡担当者 大柳 聡 (H18)

を深めることが出来ました。

丁度、「六甲ミーツ・アート芸術散歩 2014」が開催されており、六甲山上やホテル内に現代アートの作品が多数展示されていました。六甲山の自然とアートを満喫しながらの大変有意義な支部総会となりました。



関西支部では来年度も2ヶ月毎の定例会を5回開催し、「会員相互の親睦を図り、建築に関する学術、技術、芸術の発展に寄与する」と言う会の目的に沿った活動を行います。また、名古屋工業会との連携を今年以上に強化して多くの会員が参加する仕組みをつくって行きたいと考えています。

〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町3-6-1

(株) 鴻池組 藤澤 繁男 (06-6245-6315)

支部長 蔦田 守弘 (S52) 副支部長 黒田 龍二 (S53)

連絡担当者(事務局長) 藤澤 繁男 (S53)